

人流抑制により、バス業界は危機的

バス業界は、戦後最大の危機

一年半にもわたって、人流抑制により、人の流れが止まり、バス業界は危機的。まさに戦後最大の危機である路線バスは、もどもと儲かっておらず、しかも、貸切バスの需要は旅行の激減で、気に消えた。これでは、地域のバスを維持することも難しくなる。

地域の生活交通として、休むこともできず、お客様がいななくなってしまふ、といけないのが路線バス。路線維持のために、必死にやっているが、公共交通とは言つても民間会社。民間の努力だけでは限界がある。人流抑制の影響を受けたのは、飲食や宿泊だけでなく、「一番影響を受けたのは、交通機関ではなく、いか。数ヶ月ならともかく、さすがに一年半も人の流れが止まれば、バスなど、公共交通機関はもたない」。



日本バス協会 会長 清水 一郎

しみず・いちろう 東京大学法学院卒、英ケンブリッジ大学院修了。1990年運輸省(現国土交通省)入省後、在英日本大使館参事官、観光庁観光戦略課長などを経て退官。2014年に伊予鉄道(現伊予鉄グループ)副社長を経て、2018年から社長。2021年6月から日本バス協会会长に就任。松本市出身。54歳。

人流抑制は合理的なの?

これまで人流抑制をしたのはやむを得なかつた部分があつたかも知れぬが、ワクチン接種が七割以上の人々に到達する中人流抑制が「コロナ対策として本当に効果的なのかデータやエビデンス(科学的根拠)で検証していただきたい。県外に出ても出なつてもマスク外して大騒ぎをしてクラスターが発生したというデータはあるがマスクをしてきちんと対策をして交通機関に乗ることで本当に感染が広がるのかデータで示すべき。もし今後人流抑制をする場合はデータを示した上でお願ひしたい。マスクして満員電車など交通機関に乗ってクラスターが起きた例は聞いたことが無い。マスクを外して大騒ぎすることと、マスクして対策して交通機関に乗ることを、人流として一緒にしないで欲しい。

サステナブルなバスを目指して

バスによる地域への貢献

GOTOトラベルについてもぜひマイカーよりも公共交通機関をなるべく利用して欲しい。できるだけ公共交通を優先する仕組みに。マイカーで移動するだけでは、地方経済への波及は限定的となる。旅行先でもバスや電車に、もっと乗ってもらいたい。バスならでも公共交通機関に乗っていたらぐことが地域への貢献にもつながる。

帰省ができる世の中に

お盆や正月、という帰省シーズンの度に、この一年半ずっと人と人間抑制され繰り続け、バス業界はどうしようもない状況だ。ワクチンがもうこれだけ浸透した以上帰省するのは構わないというの中であって欲しい。帰省先では慎重にマスクを外して騒いだりしなくなれば

バスのない世界を、考えてみてください

コロナ禍で、1年半以上、人の移動が制約され
バス業界は、危機的な状況です

路線バスは、コロナ禍で、お客様がいなくても、休むことができません
貸切バスは、コロナで旅行が激減し、バス需要も一気に消えました

車内は、換気や消毒なども、徹底しています
マスクをして、封筒をして、ぜひ、バスで移動をしていただきたい

人の移動がないと、経済が止まってしまいます。

帰省や、旅行、出張など、安心してできますように
また今氣は緩ゆず、行先での集まりや土産などは慎重に一つ

バス業界は、安全を最優先に取り上げています。

バスがなくなれば地域の未来はない
地域の交通として、皆さまの応援をお願い申し上げます

日本農業生産者連合会・東京生産者連合会・長野県生産者連合会・岐阜県生産者連合会



日本バス協会
会長 清水 二郎